

議会報告会での質疑・意見及びその回答

別紙3

平成24年5月20日(日) 八幡東会場(レインボープラザ)

質疑・意見の要旨(当日回答保留分)	議員回答要旨(当日回答保留分)
<p>① 八幡東区役所北側の第二棟の外壁が剥離し、外壁をはつたまま放置しているため、そこから雨水が浸透している状況である。今後、外壁工事を行うのか、それとも建替工事を行うのか。</p>	<p>八幡東区役所別館については、下記のとおり、耐震及び外壁改修が実施されています。 工事名:八幡東区役所別館耐震及び外壁改修工事 工期:平成24年6月8日(金)～平成25年2月28日(木)</p> <p>○問合せ先 市民文化スポーツ局区政課(093-582-2107) または八幡東区役所総務企画課((代) 093-671-0801)へ</p>
<p>② 市民センターについて、中央町(の市民センターである八幡大谷市民センター)は、(レインボープラザの3階にあって、)間借りの状態だが、新たな考え(新設など)はないのか。</p>	<p>担当局へ確認したところ、八幡大谷市民センターの建替えや改修の計画はないとのことです。</p> <p>○問合せ先 市民文化スポーツ局市民センター室(093-582-2991)</p>
<p>③ 東田地区の、コジマとナフコの間にある商業用地には、どんな企業がいつ頃進出してくる予定があるのか、わかれば教えてほしい。</p>	<p>お尋ねの用地について、北九州市が決定した地区計画では、「業務・利便施設地区」として指定されています。担当局へ確認したところ、同地区は、研究開発、業務・生産、教育・文化、商業・アミューズメント等の多様なニーズに対応する業種の集積・立地誘導を図っていますが、現在のところ進出企業は決定していないとのことでした。</p> <p>○問合せ先 産業経済局企業立地支援課(093-582-2065)</p>

議会報告会での質疑・意見及びその回答

平成24年5月20日(日) 八幡東会場(レインボープラザ)

質疑・意見の要旨	議員回答要旨
<p>コムシティの駐車場の管理運営を受注している業者は、今後の入札制度で変わるのか。何人もの人が働いているが、現在の雇用関係など変わるのか。</p>	<p>現在は、シルバー人材センターが管理運営を受注していますが、雇用の問題は、できるだけ安定的な管理ができるよう執行部に伝えていきたいと思えます。</p>
<p>市が街灯を取替えていると聞いたが、市内すべての街灯を替えたのか。お金の余裕があるから替えているのか。</p>	<p>電気代が安く、長持ちして消費電力の少ないLEDへ取替えを行っています。お金の余裕があるからではなく、初期の負担はかかりますが、総合的に見てメリットがあるということで、防犯灯のLED化を進めています。</p>
<p>質疑項目に市立八幡病院の建替えとあるが、市立戸畑病院や若松病院のように売却は考えていないのか。また、建替えには多額の費用が必要になるが、予算の確保はしているのか。</p>	<p>現在、西部地区の医療提供体制に関するあり方検討会で検討が進められており、7月末までに答申が出るようになっていきます。そんなに遠くない将来に建替えの方向で検討がなされていくと思っています。予算については、かなり経営改善を図って負債がほぼ無くなってきている状態です。今後も、建物やベッド数だけでなく、どういった医療を目指していくのかということも議論していきます。医療センターと八幡病院については、民営化の考えはありません。</p>
<p>市では100億円規模で、新サッカー場を建設する話があると聞いている。最終的にまた大きな赤字を生むことになるのではないかと。サッカー場だとサッカー以外の利用が厳しいのではないかと。</p>	<p>新球技場の建設は、約100億円かかることから、公共事業評価委員会や(新スタジアム将来イメージ)検討会で審議し、それについて市民の皆さまのご意見を伺って決めることになっています。そのため、まだ決定していませんし、予算計上もされていません。新球技場は、サッカーだけでなく、ラグビーやコンサートもできる形を考えていますが、維持管理に大きな経費がかかることや、サッカー場を持つ全国の自治体が厳しい経営状況にあることを踏まえ、市では現在審議を行っています。</p>
<p>町内会活性化のために、市営住宅に関しては入居条件に町内会加入を義務付けられないのか。</p>	<p>町内会はあくまで任意団体であるということで、市営住宅の入居条件として、町内会加入を義務付けるということは難しい状況です。</p>

平成24年5月20日(日) 八幡東会場(レインボープラザ)

質疑・意見の要旨	議員回答要旨
<p>町内会の役員をして一番困っていることは、住んでいる人の情報が全く入ってこないことである。これでは何かあったときに対処できない。皆さんが町内会へ加入し、町内会が活性化してこそ、その町が機能するのではないか。個人情報がある程度あってこそ、町内がうまく機能するのではないか。</p>	<p>本市では、高齢者の一人暮らしのお宅を訪問し、いろいろな相談を聞く、ふれあい巡回員という制度があります。このような制度を活用しながら、民生委員と町内会役員が協働して、訪問先の方が町内会に入っただくよう勧誘を続けているのが現状です。町内会の問題は、常任委員会でも何度も議論になりましたが、地道な努力の積み重ねが必要な重要な問題と認識しています。町内会役員の皆さんを応援できるシステムができないか、再度、常任委員会でも検討していきたいと思ひます。</p>
<p>おでかけ交通の助成制度について、継続的にやっていくために、もう少し助成金を増やせないか。</p>	<p>議会としても同じような思いを持っていますので、助成を増やしていただくよう執行部に強く要望しているところです。</p>
<p>門司や八幡などは高台が多く、高台の住民は高齢になると下へ降りて来る。そして、高台の住宅はどんどん空家になり、何年間も放置され老朽化している。取り壊して欲しいと願ひするが、お金がなく放置されているので、何か対策をとってもらえないか。</p>	<p>昨年度から老朽廃屋に対し、重機が入らないところに対する助成をすることになりました。議会としても、助成額を増やして老朽廃屋をなくしていくような方向で頑張っています。</p>
<p>名古屋の高齢者は、バスの料金を年度当初にいくらか支払えば、その年度内は料金を払わなくて済む制度があるが、本市にもこのような料金制度を考えるなど、人が流動化し、市が活性化するような制度を検討してほしい。</p>	<p>市営バスには、福祉バス制度(ふれあい定期)があります。また、最初にある程度の額を納め、その後1年間無料にするのか、最初から安い料金で乗れるのかという検討をしました。バスに乗る回数は皆さん様々です。乗るたびに安い料金でご利用できるような形を選択しております。市営バスは、赤字を出さないよう、一生懸命に経営努力をしていますし、議会としても支援していきたいと思っています。また、他にもっと良い方法がないか、今後も委員会で検討したいと思ひます。 ※ふれあい定期・・・75歳以上の方ならどなたでも購入でき、市営バスのうち「北九州市内区間」であれば、何度でも乗り降りできます。</p>
<p>温泉施設では無料バスを運行し、集客を行っている。これは、温泉施設と併せた収益を考えての無料運行である。このように、市営バスの利用増を考えることで、人の移動を増やせば、市の活性化につながるのではないか。【意見】</p>	<p>—</p>

議会報告会での質疑・意見及びその回答

平成24年5月22日(火) 門司会場(門司赤煉瓦プレイス)

質疑・意見の要旨	議員回答要旨
<p>受け入れをするがれきは、どういうものなのか。また、その内容を十分に説明しているのか。</p>	<p>持ち込む震災がれきは、木屑などの可燃物となっています。本市で処理される一般のごみの放射能レベルと同程度のもを持ってきます。また、広報については、どういったものを持ち込み、どう処理し、どこに埋めるのかということ詳しく書いたビラを、北九州市からのお知らせとして全戸配布するようにしています。市民説明会も行いますので、聞きたいことがあれば、市へ申し込んでいただきたいと思います。</p>
<p>試験焼却の受入量について、静岡県島田市が10トン、東京都が50トンと聞いているが、なぜ北九州市は80トンなのか。</p>	<p>私たちは検討会に入っていないので、どういう理由で80トンに決まったかということは、現段階で我々議員には知らされていません。</p>
<p>北九州市は環境モデル都市というが、小倉のまちづくりを見ていると、大通りに面してパチンコ屋ができるなど、景観でいかがなものかという点がある。環境と共生するまちづくりを、市民に身近な話として、どのようにしようと考えているのか。</p>	<p>環境を切り口にしたまちづくりをしていこう、環境という産業を使って市の活性化につなげていこうということが基本スタンスです。東田地区では、まち全体で環境という視点での実証実験がまもなく始まりますし、城野地区では、環境にやさしいまちづくりが行われています。超高齢化社会は本市が抱える最大の悩みではありますが、環境を切り口として、高齢者の方々が住みやすいまちづくりを是非実現したいと考えています。</p>
<p>ひびきコンテナターミナルは、あまり稼動していないと思う。これから貨物の取扱量をどのように増やすのか。太刀浦との関連でどのようにやっていくのか。そういったことを考慮しながら、広域的な産業政策を、具体的に市長へ提案してもらいたい。</p>	<p>ひびき、太刀浦コンテナターミナルでは、リーマンショック、円高等による大きな動きがありましたが、昨年の取扱量は過去2番目に多く、持ち直しています。今後は、北九州港として海外航路もできましたので、さらに海外航路も増やし、取扱量を増やしていくよう執行部に伝えています。</p>
<p>サッカー場建設はやめてほしい。AIMや競輪場、コムシティの全部が失敗している。</p>	<p>サッカー場については、今年度予算には計上されていません。100億を超えるような公共事業は、審査会で検討したのち、議会に報告し、議会でどう判断するかといういくつかのステップを踏むことになっています。審査会では、経済効果や運営上成り立つのかなど、様々な角度からいろいろな方の意見を聞き検討を進めています。スポーツは大きな魅力を生むものではありませんが、大きな財政負担を避けたいという気持ちの市民が多いことは十分承知していますので、じっくり帰って報告させていただきたいと思います。</p>

平成24年5月22日(火) 門司会場(門司赤煉瓦プレイス)

質疑・意見の要旨	議員回答要旨
<p>カジノを合法にして、観光客を増やし、まちの活性化につなげてはどうか。</p>	<p>カジノについては、これまで議会でも取り上げられていますが、この場でもご意見が出たということで、議員全員と執行部に伝えたいと思います。</p>
<p>社会福祉協議会において、実際に活動しているのは福祉協力員である。民生委員の増員などの活動支援の前に、もう少し福祉協力員のほうに重きを置いてほしい。</p>	<p>民生委員のことだけが報告に上がっていますが、福祉協力員の方々に協力していただきながら地域活動が行われていることは、十分承知しています。皆さんの負担が少しでも軽減し、活動していただきやすくなるように進言していきたいと思います。</p>
<p>がれき処理について、市として皆で議論し意見を聞き、議論を戦わせ、それからどうしたらよいか考える。それが足りないと思う。3月に決めたと言わず、一度踏みとどまって、体制を組み替えていただきたい。</p>	<p>がれき処理は、議員全員で議論を重ね、全会派一致で可決しております。がれきの処理をしなければ、被災地の復興はないと真剣に考えています。検討会には、各会派の団長も入っておりますので、皆さんのご意見を伝え、検討会の中で議論を進めていきたいと考えています。</p>

議会報告会での質疑・意見及びその回答

平成24年5月23日(水) 若松会場(若松市民会館小ホール)

質疑・意見の要旨	議員回答要旨
<p>市営バスのダイヤ改正で不便を強いられている。空港など大きな観 点の話だけでなく、身近な交通手段についても考え、配慮して市政に生 かしてほしい。</p>	<p>具体的な内容を交通局に伝え、利便性の向上が図れるよう改善してい きたいと思います。 市営バスのダイヤについて、小規模な改善で対応できるもの、抜本的な改 善が必要なものがありますが、若松の皆さんがより使いやすいダイヤとなるよ う交通局へ意見を伝えていきたいと思います。</p>
<p>がれきの最終処分は若松で行うのか。また、最初は放射能のないが れきを持ってきても、最終的には放射能の入ったがれきを持ち込むので はないか。</p>	<p>焼却灰の最終処分場は、響灘西地区廃棄物処分場を予定していると聞いて います。 また、がれきの放射能レベルは、現地で検査し、こちらでも検査を行い、さら に焼却灰も検査を行うこととしています。放射能レベルの高いがれきを持ち込 むことがないよう、議会としても監視していきたいと思います。</p>
<p>議会の中で、東電もがれきを受け入れたらどうか、という意見は出 なかったのか。また、いずれ残る放射能レベルの高いがれきは、どうす るのか。</p>	<p>東電の話は出なかったと思います。また、放射能レベルの高いがれきは、国 の責任で対応するもので、本市に持ってくるものではないということをご理解く ださい。</p>
<p>がれきの焼却灰を捨てるのは若松か。若松はごみ捨て場になってい る。ダイオキシンの問題もそうだが、若松の住民は大変だ。やめてほし い。【意見】</p>	<p>—</p>
<p>ひびきコスモスランドについて、風が吹けば砂が飛び、砂漠のよ うな状態になっている。木を植え飛散しない対策を行っているようだ が、近隣住民は、洗濯物が干せないなど、我慢を強いられている。</p>	<p>意見が出されたことを踏まえ、市または区役所などへ早急に対策を行うよう 伝えたいと思います。</p>
<p>自治会への未加入者が多く、入っていても高齢化が進んでいる。こ のような状況を考慮し、長期的な観点から、もっと抜本的に自治会への 対策を考えてほしい。</p>	<p>町内会・自治会、隣組や福祉協力員の問題など、さまざまな課題が各会場 から出されています。ボランティアで多くの方にご協力をいただいています が、高齢化率が高い本市にとって大きな課題であり、今後も研究課題として取 り組んでいきたいと思います。</p>